

企業におけるグリーンITへの取り組みは、 他社との差別化を図る重要な一歩

三菱電機株式会社
技術企画部グリーン IT ビジネス推進センター
センター長：藤原 聡子 様
三菱電機株式会社 ホームページ
<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/>

08 年 10 月に組織が誕生し、日々 IT 機器の省エネルギー提案に奔放する藤原さん、その屈託ない笑顔で、熱く想いを語る姿は、とても人を惹き寄せる魅力に溢れていました。

グリーンITとは、どのような取り組みを指すのでしょうか。

「グリーン IT」とは、IT の側面から環境負荷軽減を推進する取り組みの総称です。そのアプローチには、IT 機器自体の省電力化を図る「Green of IT」(IT 機器・システムの省エネ)と、IT を活用した高度な制御や管理によってエネルギー消費の削減や利用効率の向上を図る「Green by IT」(IT を活用した社会の省エネ)という 2 つがあります。

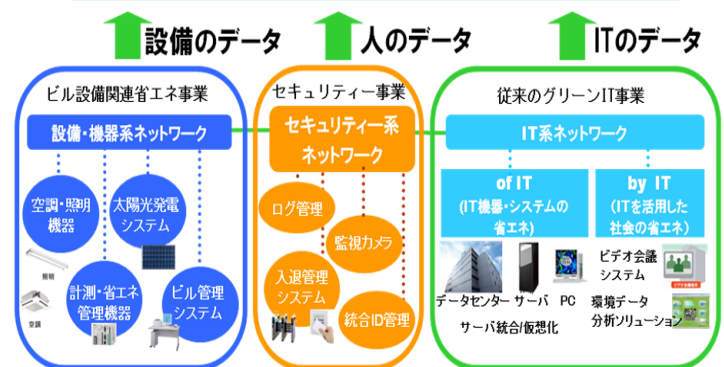
三菱電機では、グリーン IT についてどういった取り組みをされているのでしょうか



三菱電機では、この 2 つの「Green of IT」と「Green by IT」の切り口でグリーン IT 事業を推進しております。具体的に申しますと、「Green of IT」では「サーバ統合」や「データセンター」が注目されており、「Green by IT」では、「物流管理システム」を始め様々なソリューションがあります。特に社会全体の省エネに大きく貢献できるとして「Green by IT」による効果が大きいと試算されています。

Flow Designer もその 1 つの重要なソリューションです。こういったグリーン IT 事業を更に強くしていくにあたりまして、従来の「Green of IT」、「Green by IT」と、私ども三菱電機の強い事業としての、ビル設備関連省エネ事業、セキュリティ事業、これらをうまく束ねて連携させながら、情報収集・蓄積をして「見える化」し、ビル・建物を丸ごと省エネするための最適解を、自社のデータセンター、最先端のセキュリティ技術などを活用したクラウド・グリーン IT サービス「Green by Cloud」として、お客様に提供していきます。これらをワンストップ、一社で提供出来るのが、当社の大きな強みであり、従来の「Green of IT」、「Green by IT」に加え、この「Green by Cloud」をもう 1 つの柱としてグリーン IT 事業の拡大を図っていきたいと考えております。

Green by Cloud



「三菱電機のグリーン IT への取り組み」

どのようなきっかけから、Flow Designer を活用されるようになったのでしょうか。

現状、IT 機器稼働率が高いオフィスやデータセンターの CO2 排出量増大という課題が顕著化し、法規制にも対応した取り組みが求められており、特にデータセンターの運用改善については、高効率な設備・機器の導入や、エネルギー効率の良い照明の設置、設備・IT 機器の最適な配置設計、消費電力量・温湿度の見える化などがありますが、データセンターの運用効率向上に向けたアプローチは、最初に現状をきちんと把握する事が重要です。お客様のところからデータセンターの省エネ依頼がきた時、いかに運用していくべきかを提案してほしいと言われる機会が非常に多くなっています。その際やはり始めには、現状の状態はどうなっているかが、わからなければいけない。そこで気流の流れや温度分布をシミュレーションできる Flow Designer を使って診断してみる事になったんです。

Flow Designer を導入してみたいかでしたか

多くのお客様は、どちらかというと今までは勘と経験で熱対策の問題解決をやっていたんですね。でも現実には色々な要因が複雑に絡み合っていて、熱の問題が発生した時に、どうしていいかわからない事も多々あるわけです。そういう時に一目見て現状の温度の状態や気流のムラとかがわかるから、いいですよ。例えば、床の吹出し口をどうするか等を検討する際でも、今までは勘と経験に頼ってやってきたけど、それが本当にいいのかわからないから、逆にどうやっていいかもわからない。対策案を上司に対してうまく説明できないので、なかなか対応が図れない。そんな時Flow Designerは机上で簡単にシミュレートできるので、工事する前にその対策案がどれ位の効果があるのか、定量的に検討できる効果というのは、すごく大きいと思います。お客様に見せても、ああ、ここはこうなんだねと認識してもらい、効果が具体的に理解できるようになると、じゃあこうしてみようと、話により具体的にどんどん進んでいきますよね。

オフィスの省エネは実際の所、オーナーさんとテナントさんの関係が非常に難しい面があります。例えば照明をLEDに替えたとしても、照明設備そのものはオーナーさんのもので、テナントさん側はなかなか勝手に替えない。一方でオーナーさんは自分自身が使うわけで無いので、新たな省エネ設備を特に必要としない。テナントさんの立場は省エネしないといけないという思いがあっても、そのところの壁とか、ギャップが大きいんですよ。私達は、そのところをうまくお互いの言い分をヒアリングし、つなげていきたいんですよ。又テナントがたくさん入っていると、その仕様というのは全部異なっていて、オーナーはテナント別に1つ1つ報告する面倒さがあるんですよ。それをまとめて一括で代わりに行ってあげるといふところに私達のビジネスチャンスがあるんですよ。それと又話は戻りますが、Flow

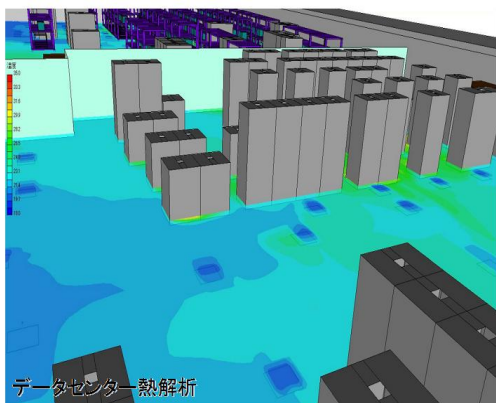
Designerのライブラリ機能、あれすごく大きな資産になりますね。今後もどんどん使っていきたいですね。

最後に藤原さんから、熱い想いをお聞かせ下さい！

Flow Designerの開発元であるアドバンスドナレッジ研究所

所の池島社長とは、私が所属するグリーンITビジネスを推進する組織が設立された一年前位の時期に、データセンタの省エネをご相談させて頂いた事がきっかけで、情報交換など実施させて頂くようになりました。私は入社以来、コンピュータのソフトウェアの製品開発を担当してきました、いつか市場トップになる日本発のソフトウェア製品をつくるぞ！と、かなり大それた夢をもってビジネスに携わってきたのですが、Flow Designerという製品と出会い、大きな励みとなりました。2010年は、改正された省エネ法や、温対法など環境関連の規制の強化に伴い、企業においても、グリーンITへの積極的な取り組みが今後加速されると予想されます。グリーンITへの取り組みは、単なるCSRの観点としてだけでなく、他社との差別化を図る重要な一歩になり、環境問題解決のためにITの果たすべき役割が、ますます重要になると思います。企業が省エネを実

践する際の支援策として、クラウド・グリーンITサービス「Green by Cloud」をワンストップで提供し、お客さまのグリーン化への取組みをサポートすると共に、お客様と一緒に変化に対応できるビジネスをしていきたいと考えております。



流体/温熱/環境シミュレーションソフト

FlowDesigner

簡単・シンプル操作のシミュレーションソフト

これまで使ったことのなかった人も… 現状に満足できない人も…

【開発・販売元】



Advanced
Knowledge
Laboratory

株式会社 アドバンスドナレッジ研究所

TEL.03-3225-9800 FAX.03-3225-9805

<http://www.AKL.co.jp>

E-Mail help@AKL.co.jp

© Copyright Advanced Knowledge Laboratory Co.,Ltd. 2003